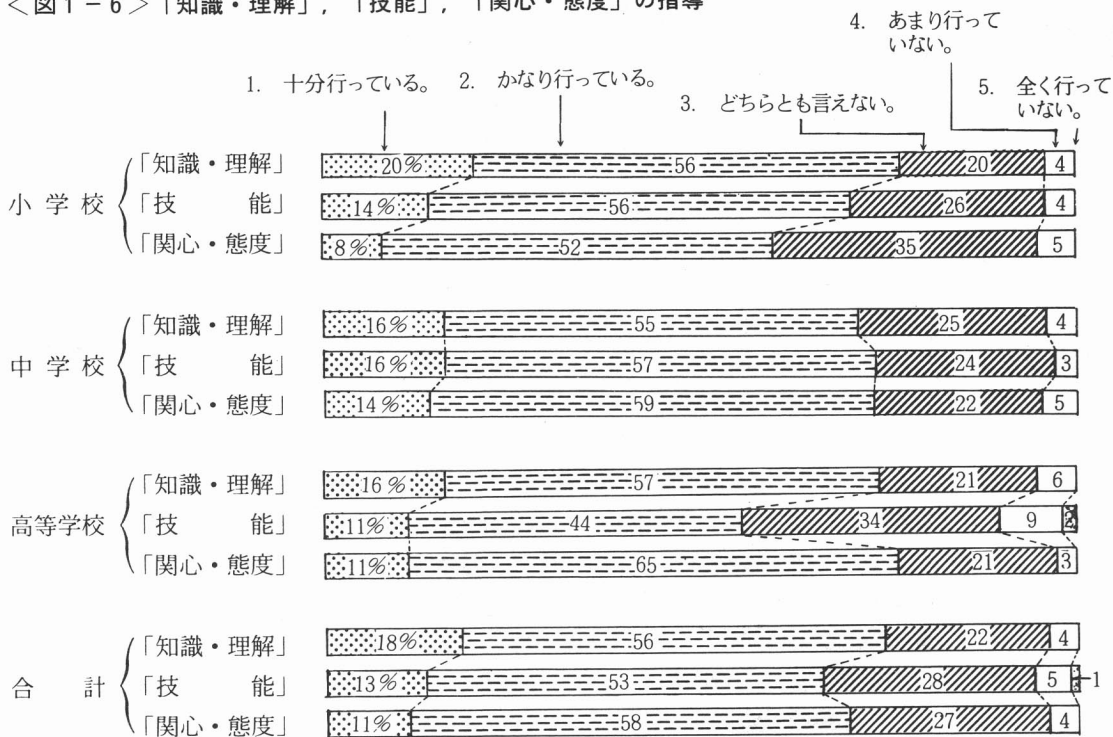


- 小学校では「十分行っている」と「かなり行っている」を合わせた割合が「技能」に比べて「知識・理解」がやや高い。
- 中・高等学校では「十分行っている」と「かなり行っている」を合わせた割合が「技能」に比べて「知識・理解」の方がかなり高い。
- 「知識・理解」については「十分行っている」と「かなり行っている」を合わせた割合は小・中・高等学校ともに高い。

基礎的・基本的な内容を「主に知識・理解，技能，関心・態度」と答えている人についての分析

<図1-6> 「知識・理解」，「技能」，「関心・態度」の指導



- 基礎的・基本的な内容として「主に知識・理解，技能，関心・態度」としてとらえている割合は図1-2によると50%である。そのうち「関心・態度」の指導を行っている程度を見ると、「十分行っている」と「かなり行っている」を合わせた割合が60%であるので、この二つを考えると、この数字は小学校全体の約30%と低い割合となる。
- 高等学校では「技能」の指導を、十分又はかなり行っている割合が、他と比べて低い。
- 小・中・高等学校を比較すると、「関心・態度」の指導を十分又はかなり行っている割合が、小学校と比べて、中・高等学校が高いのが特徴である。

(4) 基礎的・基本的な内容の定着を図る指導（その2）

〔設問4〕 学習指導において基礎的・基本的な内容の定着を図るために、特にどのようなことをしていますか。（複数回答可）